



NanoCellulose Symposium 2014

第250回生存圏シンポジウム

『セルロースナノファイバー』

～日本には資源も知恵もある～

KYOTO, JAPAN March 25, 2014

京都テルサ テルサホール

主催：京大大学生存圏研究所／京都市産業技術研究所／京都大学産官学連携本部

後援（予定を含む）：（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構、経済産業省近畿経済産業局、（一財）バイオインダストリー協会、（公社）新化学技術推進協会、（一社）日本有機資源協会、（一社）西日本プラスチック製品工業協会、（公財）京都高度技術研究所

Nanocellulose Symposium 2014

第250回生存圏シンポジウム

『セルロースナノファイバー』

～日本には資源も知恵もある～

京都大学生存圏研究所で15年に渡り行ってきたセルロースナノファイバー材料研究を総括し、本材料の「攻めどころ」や「開発研究のツボ」を掘り下げます。また、経済産業省から、事業化促進のための『ナノセルロースフォーラム』設立について、さらにはサンプル提供を開始した民間企業、応用研究をすすめる大学等公的研究機関より、ホットな話題をご講演いただきます。パネル展示も同時開催いたします。皆様、奮ってご参加ください。

日 時: 2014年3月25日(火) 12時30分～17時40分
(受付:12:00～)

会 場: 京都テルサ テルサホール
(京都市南区東九条下殿田町70番地 京都府民総合交流プラザ内)

アクセス: JR京都駅 八条口より徒歩など

U R L: <http://www.kyoto-terrsa.or.jp/access.html>

定員 300名(先着順・定員になり次第締め切ります。)

参加費 無料

対 象 どなたでも参加できますが、
専門的な内容です。

申込方法 2014年2月初旬を目途に、下記Web上にてご案内いたします。
京都大学 生存圏研究所 生物機能材料分野ホームページ
<http://vm.rish.kyoto-u.ac.jp/W/LABM/sympo2014mar25>

Program

12:30 開会挨拶

研究総括

12:35 京都大学生存圏研究所における
セルロースナノファイバー研究のこれまでとこれから
京都大学生存圏研究所 矢野浩之

特別講演

13:20 「ナノセルロースフォーラム」の設立
ー ナノセルロースの実用化に向けて ー
経済産業省製造産業局 紙業服飾品課長 渡邊政嘉

一般講演

13:40 セルロースナノファイバーによるゴムの補強
兵庫県工業技術センター 長谷朝博

14:00 ミカン搾汁残渣に含まれる
セルロースナノファイバーの分離
愛媛大学 秀野晃大

14:20 セルロースナノファイバーの電子デバイスへの応用
大阪大学産業科学研究所 能木雅也

14:40 展 示 休憩

15:10 透明紙の開発 日本製紙(株) 伊達 隆

15:30 セルロースシングルナノファイバーからなる増粘剤の開発
第一工業製薬(株) 神野和人

15:50 セルロースナノファイバーの開発
中越パルプ工業(株) 田中裕之

16:10 ナノセルロースを用いたガスバリア紙の開発
大王製紙(株) 大川淳也

16:30 セルロースナノファイバー複合材料の成形技術開発
(株)日本製鋼所 時久昌吉

16:50 セルロースナノファイバーによる樹脂高機能化
王子ホールディングス(株) 野一色泰友

17:10 閉会 展示

17:40 閉場

【同時開催】ナノセルロース パネル展示:

スギノマシン(株)、増幸産業(株)、吉田機械興業(株)、第一工業製薬(株)、中越パルプ工業(株)、大王製紙(株)、日本製紙(株)、王子ホールディングス(株)、
星光PMC(株)、トクラス(株)、東京大学農学生命科学研究科、京都大学生存圏研究所生物機能材料分野、京都大学化学研究所高分子材料設計化学研究領域、
大阪大学産業科学研究所セルロースナノファイバー材料研究分野、鳥取大学工学部応用化学講座、産業総合技術研究所バイオリファイナリー研究セン
ター、京都市産業技術研究所、あいち産業科学技術総合センター、他 (順不同)

主催: 京都大学生存圏研究所 / 京都市産業技術研究所 / 京都大学産官学連携本部

後援(予定を含む): (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、経済産業省近畿経済産業局、(一財)バイオインダストリー協会、(公社)新化学技術推進協会、
(一社)日本有機資源協会、(一社)西日本プラスチック製品工業協会、(公財)京都高度技術研究所